

みずほCustomer Desk Report 2019/07/09 号(As of 2019/07/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.55
TKY 9:00AM	108.48	1.1228	121.80	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.81	1.1234	121.94	1.2524	0.6982
SYD-NY Low	108.28	1.1207	121.53	1.2540	0.6994
NY 5:00 PM	108.73	1.1214	121.92	1.2500	0.6967
				1.2517	0.6974
NY DOW	26,806.14	▲ 115.98	日本2年債	-0.2100	1.00bp
NASDAQ	8,098.38	▲ 63.41	日本10年債	-0.1500	2.00bp
S&P	2,975.95	▲ 14.46	米国2年債	1.8860	2.06bp
日経平均	21,534.35	▲ 212.03	米国5年債	1.8532	1.66bp
TOPIX	1,578.40	▲ 14.18	米国10年債	2.0467	0.86bp
シカゴ日経先物	21,595	▲ 70	独10年債	-0.3675	▲ 0.35bp
ロンドンFT	7,549.27	▲ 3.87	英10年債	0.7135	▲ 2.25bp
DAX	12,543.51	▲ 25.02	豪10年債	1.3275	4.50bp
ハンセン指数	28,331.69	▲ 443.14	USDJPY 1M Vol	5.68	0.04%
上海総合	2,933.36	▲ 77.70	USDJPY 3M Vol	5.78	▲ 0.00%
NY金	1,400.00	▲ 0.10	USDJPY 6M Vol	6.02	▲ 0.04%
WTI	57.66	0.15	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	180.68	▲ 0.09	EURJPY 3M Vol	6.01	0.02%
ドルインデックス	97.36	0.07	EURJPY 6M Vol	6.45	▲ 0.06%

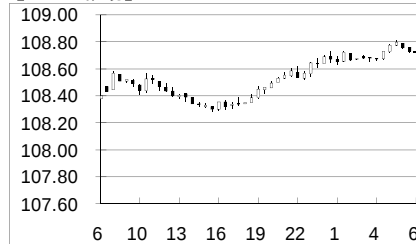
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月8日	08:50	日 国際収支・経常収支	5月 ¥1594.8B	¥1395.3B
	08:50	日 貿易収支	5月 -¥650.9B	-¥758.9B
	08:50	日 コア機械受注(前月比/前年比)	5月 -7.8%/-3.7%	-3.8%/-3.6%
	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 0.3%/-3.7%	0.4%/-3.2%

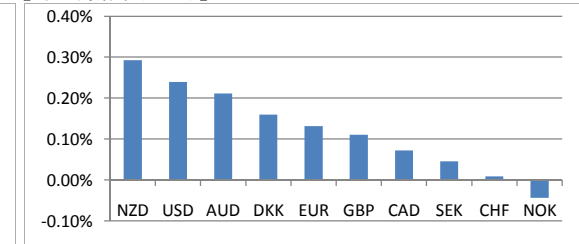
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月9日	21:45	米 パウエルFRB議長 議会証言		
	23:10	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演		
7月10日	03:20	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-109.20	1.1160-1.1260	121.40-122.40

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は上昇した。5日に発表された米6月雇用統計の好結果を引き継ぎ、108円台半ばで堅調に推移。米NY連銀の6月調査で米消費者のインフレ期待が3ヶ月ぶりに上向いたことが好材料となった他、終盤にかけて米長期金利が上昇する展開となり、ドル円は108.81まで上昇した後、108.73レベルで取引を終えた。本日のドル円は堅調推移を予想。米6月雇用統計を受けてFOMCにおける7月50bpの大幅利下げ観測は後退している状況。10日にはパウエルFRB議長による議会証言が予定されており、利下げへの言及に焦点が集まる。それまでは先週末からの流れを引き継ぎ、ドル円は108円台後半で堅調な値動きをするものと予想。

東京	東京時間のドル円は108.48レベルにてオープン。先週末の米雇用統計の好結果の影響を引き継ぎ108円台半ば付近で底堅い展開。オープン直後は日経平均株価の下落に上値を抑えられたが、仲値にかけてドル円は一時108.56まで上昇した。一巡後は再び108円台前半までじりじりと反落し108.36レベルにてクロス。東京時間午前中には黒田日銀総裁のあいさつにて景気拡大・物価上昇の文言が確認されたが相場への影響は限定的だった。また、5月機械受注は市場予想を下回り4ヶ月ぶりの減少となったものの内閣府の基調判断は「持ち直しの動きがみられる」で据え置かれた。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.36レベルでオープン。先週末の堅調な米雇用統計を受けて今月末FOMCにおける50bpの利下げ観測が後退し、ドルが底堅く推移する中、ドル円も108.60まで上昇。一方、雇用統計後の高値108.64は抜けられず、108.58レベルでNYへ渡った。ボンドドルは、1.2530レベルでオープン。新規材料に欠ける中、終始方向感なく1.2512から1.2540のレンジで推移し、1.2514レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は108.58レベルでNYオープン。主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方は108.52まで下押しするが、NY連銀が発表した6月の調査でインフレ期待が1年先で2.7%(前回2.5%)、3年先も2.7%(前回2.6%)と3ヶ月ぶりに上昇したこともあり、先週末の高値108.64を抜け、108.73まで上昇。その後は新規材料に欠ける中、108.70付近での推移が暫らく続くが、特段のニュースが見当たらない中、今週の入札を控えてのポジション調整もあってか、終盤にかけて米金利が上昇する展開にドル円は108.81まで上昇。しかし108.80~109.00では売り意欲は強く108.73レベルでクロスした。一方、週末の米雇用統計結果を受けたドルの買戻しや、独5月鉱工業生産が予想を下回ったことから、ユーロドルは上値を切り下げ、1.1214まで下落し、1.1221レベルでNYオープン。朝方は一旦ドル買戻しが落ち着く展開にユーロドルは1.1227まで戻すが、再びドル買いが優勢となり、1.1207まで反落する。午後はユーロが一息買い戻される局面もあったものの、米金利上昇を受けたドル買いにユーロドルは上値を抑えられ1.1214レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 森谷・綱島